



しがの産業を支える技能とデジタル技術が身につく、新たな高等技術専門校へ

1 はじめに

- ・職業能力開発の基本となる計画である、しが職業能力開発推進プラン(対象期間:令和4年度から令和8年度まで)に基づく人材育成
- ・国における「リ・スキリングによる能力向上支援」等による「人への投資」の強化
- ・「しがの産業を支える技能とデジタル技術の融合によるしがの発展」を支える人づくりを基本理念とし、しがの産業を支える人材の育成、しがの産業をけん引する人材の育成、誰もが働き、活躍できる社会の実現に向けた多様な人材の活躍促進が図られるよう高等技術専門校像が示されることを期待
- ・県内の若年者、女性、障害者、中高年齢者等の多様な求職者のセーフティネットとしての役割や現場作業者の人材不足に苦慮する県内中小企業への人材確保に対応

2 滋賀県の職業能力開発を取り巻く状況

- ・生産年齢人口の減少と高齢者人口の増加
- ・本県の基幹産業は「製造業」
- ・「製造業」、「建築・土木」など多くの業種で人材が不足
- ・人材不足への対応のため、デジタル化が進展

3 高等技術専門校の訓練科再編の考え方

(1)現状と課題

- ・今後ものづくり企業での人材不足は一層加速することが懸念
- ・産業の持続的な発展のため、生産設備の自動化、ロボット等の先進技術やIoT、AI等によるデジタル化に対応し、活用できる人材育成や確保が重要
- ・高等技術専門校の令和4年度入校率は校全体で58.4%と低調傾向
- ・高等技術専門校の既存訓練科の5年間平均の就職率は概ね80%

(2)今後の方向性

- ①求職者ニーズの低い訓練科の見直し
- ②求人ニーズにマッチした訓練の実施
- ③他の職業能力開発施設との役割分担や地域特性に配慮した訓練科の配置
- ④企業ニーズに応じた訓練の充実
- ⑤DX化に対応した訓練の実施
- ⑥在職者訓練の充実
- ⑦県立職業系専門高等学校等および開設予定の県立高等専門学校との連携強化
- ⑧ものづくり分野の魅力発信への取り組み
- ⑨滋賀の特色を活かした訓練の充実
 - ・省エネルギー化やCO₂ネットゼロ社会を意識した訓練
 - ・多様な求職者のセーフティネットとしての役割

4 訓練内容の設定(高等技術専門校現在の訓練科名)

- (1) **改**機械加工分野(ものづくり加工科、ものづくり金属科)
 - ・自ら製図、加工できる統括的な技能を習得する訓練科を1校舎に集約
- (2) **新**機械設計分野(生産CAD科)
 - ・機械設計ができる技能を習得する訓練科を新設
- (3) **新**溶接分野(ものづくり加工科、ものづくり金属科)
 - ・設備の長寿命化に対応した溶接技能を習得する訓練科を1校舎に集約
- (4) **改**電気、制御分野(電気エネルギー設備科、生産システム設備科、メカトロニクス科)
 - ・設備のデジタル化に対応した技能を習得する訓練科に統合
 - ・若年技能者を育成する訓練科は継続し、既存の訓練内容を充実
- (5) **改**建築分野(木造建築科、住宅リフォーム科、住環境施工科)
 - ・1年間の訓練科は2級建築士を目指せる訓練内容の充実
 - ・6か月期間の訓練科はCADを含めデジタル活用ができる訓練内容の充実
 - ・住環境施工関連は、住宅の企画・設計補助・営業業務ができる技能を習得する訓練内容の充実
- (6) **改**アパレル分野(服飾デザイン科)
 - ・デジタル化の進展を踏まえ、アパレルCADの導入等訓練内容を充実
- (7) **改**自動車整備分野(自動車整備科)
 - ・自動運転、脱炭素化等に対応した、新基準のカリキュラムに合わせて訓練内容を充実
- (8) **改**情報処理分野(ICT技術科)
 - ・デジタルスキル標準に合致した訓練内容の充実
- (9) **改**障害者対象の訓練(総合実務科)
 - ・障害者の就業に向けた多様な機会の確保ができる訓練内容の充実
- (10) **改**求職者にとってイメージしやすい訓練科名の検討
 - ・求職者が訓練内容をイメージしやすい適切な訓練科名の検討

5 再編した訓練科の開始時期

設備導入を考慮し、令和7年度から概ね2年間かけて、順次訓練を開始

6 定期的な訓練評価

入校状況、就職状況を把握し、5年毎に定期的に評価するとともにニーズに合った訓練科となるよう継続して検討

－滋賀県立高等技術専門校のあり方について－

しがの産業を支える技能とデジタル技術が身につく、新たな高等技術専門校へ

4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



今後の方向性

- ①求職者ニーズの低い訓練科の見直し
- ②求人ニーズにマッチした訓練の実施
- ③他の職業能力開発施設との役割分担や地域特性に配慮した訓練科の配置
- ④企業ニーズに応じた訓練の充実
- ⑤DX化に対応した訓練の実施
- ⑥在職者訓練の充実
- ⑦県立職業系専門高等学校等および開設予定の県立高等専門学校との連携強化
- ⑧ものづくり分野の魅力発信への取り組み
- ⑨滋賀の特色を活かした訓練の充実

令和7年度以降訓練科の再編のイメージ

※参考 現行訓練の状況

	訓練分野	現行訓練科	校舎	令和7年度以降
○	機械加工分野、溶接分野	ものづくり加工科	米原	統合
		ものづくり金属科	草津	統合
○	機械設計分野	生産CAD科	米原	新設
△	制御、電気分野	生産システム設備科	米原	統合
		電気エネルギー設備科	米原	統合
		メカトロニクス科	米原	充実
□	建築分野	木造建築科	米原	充実
		住宅リフォーム科	米原	充実
		住環境施工科	草津	充実
◇	情報分野	ICT技術科	草津	充実
▽	アパレル分野	服飾デザイン科	草津	充実
☆	自動車整備分野	自動車整備科	草津	充実
★	障害者訓練	総合実務科	草津	充実

